

令和6年度進行管理・評価シート
岐阜市歴史的風致維持向上計画(令和5年3月29日認定)
(最終変更令和7年3月11日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

①-1 庁内関係部課による歴史まちづくり推進のための連携及び 「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」の開催	1
--	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

②-1 景観重要建造物等整備事業	2
②-2 長良川中流域の文化的景観保存調査事業	3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

③-1 岐阜公園再整備事業	4
③-2 岐阜城天守閣耐震化事業	5
③-3 歴史博物館総合展示室リニューアル事業	6
③-4 長良川水辺拠点整備事業	7
③-5 無電柱化推進事業	8

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

④-1 岐阜公園三重塔特別公開事業	9
④-2 まちなか歩き回廊推進事業(まちなか歴史クイズウォーク)	10
④-3 岐阜まつり記録保存調査	11
④-4 長良川鵜飼文化未来継承事業	12
④-5 史跡岐阜城跡整備事業	13
④-6 信長学推進事業	14
④-7 歴史遺産活用事業	15
④-8 長良川まつり支援事業	16
④-9 ぎふ長良川の鵜飼伝承事業	17
④-10 岐阜城天守閣運営管理事業	18
④-11 鵜飼観覧船等の運航事業	19
④-12 伝統的工芸品振興事業	20
④-13 ふるさと大好き鵜飼事業	21

⑤-1 効果・影響等に関する報道(様式1-5)	22
-------------------------	----

⑥-1 その他(効果等)(様式1-6)	23
---------------------	----

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

市内関係部署による歴史まちづくり推進のための連携及び
「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」の開催

☐実施済
☒実施中
☐未着手

計画に記載
している内容

組織体制としては、歴史的風致維持向上協議会(事務局(歴史まちづくり課))、関係機関を位置付ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

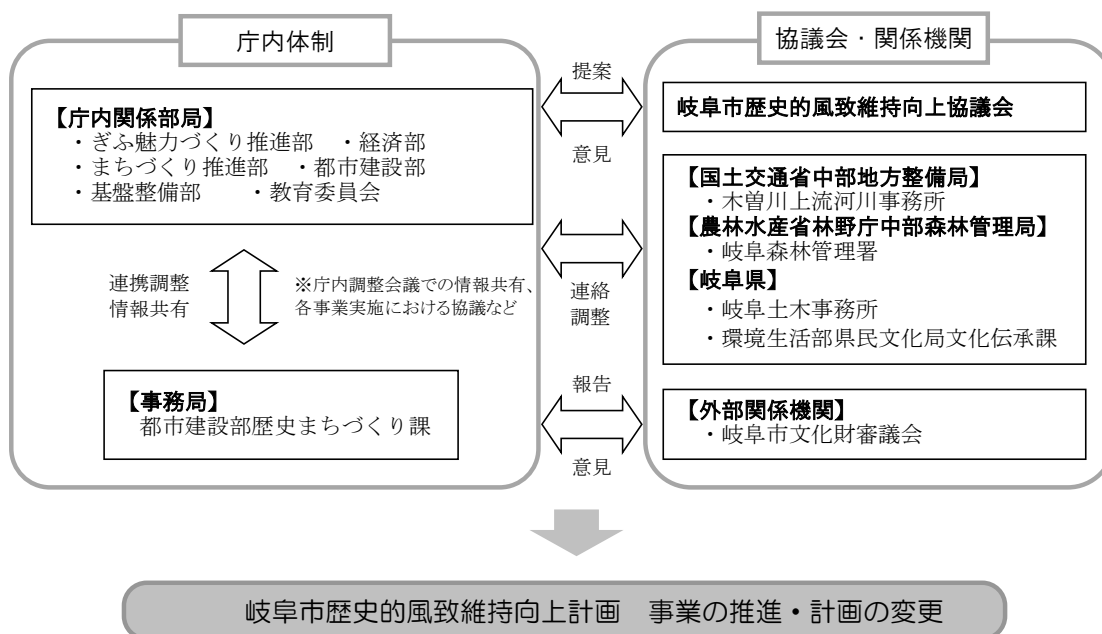
計画に掲載している各事業は、関係機関と連絡・調整を行い実施した。各事業の進行管理・評価は、事業担当部署と事務局との間で協議し、「進捗評価シート」を作成した後、令和7年2月の岐阜市歴史的風致維持向上協議会において、委員等の意見を聴取した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

概ね計画どおりに進んでいる。今後は、事務局を中心に事業担当部署間において密に連絡をとり、更なる連携強化を図りながら、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



【会議等の状況】

岐阜市歴史的風致維持向上計画市内調整会議(令和6年11月21日)

・各事業の進行状況を、進行管理・評価シートを用い情報共有した。

協議会委員との事前協議(令和7年1月)

・各事業の進行状況を進行管理・評価シートにて説明し、委員の意見を聴取した。

・指摘事項をもとに進行管理・評価シートを修正した。

令和6年度岐阜市歴史的風致維持向上協議会(令和7年2月20日)

・各事業の進行状況に係る進行管理・評価シート案について委員等の意見を聴取した。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
景観重要建造物等整備事業		現在の状況
		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

計画に記載している内容

外観が景観上の特徴を有し、良好な景観の形成に重要な建造物について、景観法に基づき景観重要建造物として指定したものの維持保存工事費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観重要建造物指定件数:20件

・R6修繕 ⇒景観重要建造物(3件予定)の保全を図った。

No.13:森家住宅主屋(外壁修繕) No.14:森家住宅離れ(外壁修繕) No.15:森家住宅門及び塀(瓦屋根修繕)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している

□計画どおり進捗していない

令和4年度から国の交付金(社会資本整備総合交付金「街なみ環境整備事業」)を活用し、景観重要建造物の維持保存工事に対する助成を開始し、歴史的なまちなみの良好な景観形成の核として所有者と連携を図り、景観保全を促進する。

状況を示す写真や資料等

景観重要建造物 位置図

○ 助成有

□ 未助成

景観重要建造物			
物件名	助成年度	物件名	助成年度
1 桑原家住宅 主屋	H16 H26 R1 R4	11 青木家住宅 土蔵	R2
2 桑原家住宅 煉瓦蔵	H16 H25 H26	12 岡本家住宅 主屋	H13 H24H30 R2
3 桑原家 事務所	-	13 森家住宅 主屋	H13 H26 H29 R5 R6予定
4 深尾商店 主屋	-	14 森家住宅 離れ	H13 R3 R5 R6予定
5 川原町屋 主屋	H14	15 森家住宅 門及び塀	H13 R3 R6予定
6 川原町屋 土蔵	H14	16 森家住宅 倉庫	H13 H26 R5
7 野々垣家住宅 主屋	H28	17 後藤市三郎商店 主屋	H15 H25 R2 R3
8 野々垣家住宅 土蔵	H28	18 後藤市三郎商店 土蔵	H15
9 青木家住宅 主屋	H23	19 十六銀行旧富茂出張所	H29
10 青木家住宅 土蔵	R2	20 十六銀行旧徹明支店	-

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
長良川中流域における文化的景観保存調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 「長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画」「長良川中流域における岐阜の文化的景観整備計画」に基づき、重要な構成要素への追加候補調査、自然・眺望体感事業、習慣・文化調査発展事業、担い手・語り手等人材育成事業、防災事業等、各事業相互に連携を図りながら事業を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成25年度：「長良川中流域における岐阜の文化的景観」が重要文化的景観に選定(H26.3.18)。
- ・平成26年度：パンフレット作成。「重要文化的景観選定記念シンポジウム」を開催(H26.7.27)。
- ・平成27年度：重要な構成要素のプレート30枚作成し、所有者に配付。
- ・平成28年度：重要な構成要素の個別パンフレットを作成。「整備基本構想」の策定を開始(H29年度までの2か年)。
- ・平成29年度：重要な構成要素の個別パンフレット改訂版を作成。「整備基本構想」を策定。
- ・平成30年度：重要な構成要素「山下鶴匠家(マルヤマ)」主屋について、外観修復、構造補強等の工事を実施し、重要な構成要素の保存を図った。
- ・令和元年度：「整備計画」を作成。正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3Dスキャンを実施。重要な構成要素の個別パンフレットを作成。
- ・令和2年度：「整備計画」の印刷、刊行。正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3Dスキャン(R1より継続)を実施。3Dデータを用いた映像作成。重要な構成要素の個別パンフレット改訂版を作成。
- ・令和3年度：正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3D動画をYouTubeにて公開(4/2)・岐阜市歴史博物館にて上映(4/10～5/30)。
- ・令和4年度：重要な構成要素の個別パンフレット(鏡岩水源地)作成。
- ・令和5年度：「金鳳山正法寺大仏殿及び大仏整備基本計画」作成。
- ・令和6年度：重要な構成要素(家屋)の防災対策状況等の調査(継続)。正法寺大仏殿・岐阜大仏のリーフレットの作成(10,000部)。
- ・令和6年度：重要な構成要素(家屋)の防災対策状況等の調査(継続)。正法寺大仏殿・岐阜大仏のリーフレットの作成(10,000部)。
- ・文化庁主催の文化的景観制度創設20周年事業への協力(文化的景観活用事例集の作成等)

進捗状況 ※計画年度との対応

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ・既選定範囲および追加予定範囲について、岐阜市長良川流域の文化的景観検討委員会による保存調査、保存計画、整備構想、整備計画等の検討を行う。
- ・既選定範囲における重要な構成要素について、文化財保護法上の手続き(現状変更など)が必要となるため、所有者との情報共有を密に行う。
- ・他部局と連携を図り、整備計画を推進するとともに、持続可能な地域づくりに取り組む。

状況を示す写真や資料等



重要文化的景観のエンブレム



正法寺大仏殿・岐阜大仏のリーフレット



文化的景観の誘導看板(岐阜公園歴史博物館前)



文化的景観活用事例集の作成への協力

岐阜市の文化的景観とは

鵜飼の舞台としてだけでなく、水運により物流の主軸となっていた長良川。斎藤道三公や織田信長公が拠点として活用するだけでなく、豊かな生態系が維持されている金華山。それらに隣接し戦国時代以来の姿を残す、堤外地(長良川の堤防の外。川側に位置する。)にある2つの大きな集落と旧城下町。これら特色ある自然と町と人々が一体となって形成してきたこの文化的景観は「岐阜市の原風景」といことができます。

※「長良川中流域における岐阜の文化的景観」は、平成26年3月18日に国の重要文化的景観に選定。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
岐阜公園再整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 平成21～平成25年度 : 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
平成26～令和元年度 : 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)
令和 2～令和 9年度 : 都市構造再編集支援事業
令和 6～令和10年度 : 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 岐阜公園が持つ信長公居館跡などの歴史的価値と金華山・長良川の豊かな自然環境を活かした本格的な「歴史公園」として再整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度

・民間活力の導入(Park-PFI)

Park-PFI事業者である名古屋鉄道株式会社を代表企業とする法人グループにおいて、新たな賑わいを創出するため、織田信長公が世に広めた楽市楽座をイメージした飲食や土産品等を提供する施設「岐阜城楽市」の整備が進められた。これら施設整備にあわせ、市においても園路や広場、駐車場などの整備を行うなど、令和7年4月26日のオープンに向け、官民が連携して事業を実施した。

・都市計画公園区域の変更

岐阜公園再整備基本計画に基づき、史跡岐阜城跡が持つ多様な価値を未来へ継承するとともに、信長公のおもてなしを体感できる空間を創出するため、岐阜城を有する金華山山上部の城郭景観を復元する区域を新たに公園区域に追加する都市計画変更を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

引き続き関係機関と協議・調整を行い、再整備事業の進捗を図っていく。

状況を示す写真や資料等



岐阜公園再整備イメージ



都市計画公園区域図



岐阜公園内苑再整備イメージ



岐阜城楽市イメージ

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度				
項目		現在の状況					
岐阜城天守閣耐震化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手					
事業期間	平成28年度～令和9年度(予定)						
支援事業名	市単独事業						
計画に記載している内容	岐阜市のシンボルである岐阜城を後世に引き継ぐことを目的とした、「岐阜城天守閣耐震化計画」を令和3年度に策定し、岐阜城天守閣を耐震補強し、また躯体の健全性の保全を行うことで、施設の長寿命化を目指す。						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で							
平成28年度：岐阜城地質調査 平成30年度：岐阜城・岐阜城資料館耐震診断 令和元年度：岐阜城腰壁天端増打及びその他工事 岐阜城耐震補強庁内連携部会 令和2年度：岐阜城天守閣耐震化検討委員会(4回実施)→岐阜城天守閣耐震化計画基本構想策定 令和3年度：岐阜城天守閣耐震化検討委員会(5回実施)→岐阜城天守閣耐震化計画策定 令和4年度：岐阜城天守閣耐震化等実施設計→基本案作成 令和5年度：岐阜城天守閣耐震化等実施設計→設計完了 令和6年度：岐阜城天守閣耐震化工事に伴う各種申請、展示基本計画作成							
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き関係課間と調整を行い、耐震化事業の推進を図っていく。					
状況を示す写真や資料等							
■耐震補強前(現在)							
耐震診断の結果							
方向	階	Is 値	判定	方向	階	Is 値	判定
X	4	0.337	NG	Y	4	0.341	NG
	3	0.317	NG		3	0.316	NG
	2	0.498	NG		2	0.630	OK
	1	0.501	NG		1	0.492	NG
■耐震補強後(計画面)							
補強診断の結果							
方向	階	Is 値	判定	方向	階	Is 値	判定
X	4	0.734	OK	Y	4	0.891	OK
	3	0.766	OK		3	0.773	OK
	2	0.796	OK		2	0.703	OK
	1	0.726	OK		1	0.727	OK
※検討した補強案によって H標 Iso 値 0.7<Is 値と なることを各階各方向で 確認した 令和3年度に策定した「岐阜城天守閣耐震化計画」に基づき、岐阜城天守閣を耐震補強し、また躯体の健全性の保全を行うことで、施設の長寿命化を目指す方針としている。 また、耐震補強にあわせて躯体の美装化や岐阜城資料館の一部改修や、経年劣化した付帯設備の更新を行い、観光客の満足度向上やインバウンドの促進を図る。							
※計画面による補強後の代表的な構造軸組図							

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
歴史博物館総合展示室リニューアル事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和4～8年度(予定)

支援事業名 デジタル田園都市国家構想交付金(令和5～8年度(予定))

計画に記載している内容 総合展示室の展示内容を『史跡岐阜城跡整備基本計画』に定められた「城下町を中心に、市の史跡・歴史等を紹介し、街歩きの手掛となる施設」に沿って改修するとともに、老朽化した展示設備の更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年3月に策定した『岐阜市歴史博物館総合展示室リニューアル基本計画』に基づき、リニューアルの実施設計を進めている。公募型プロポーザル方式により、実施設計を行う事業者を選定。毎月定例の打ち合わせを行いながら、実施設計の内容を検討した。
また、令和4年の博物館法改正により「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」が博物館事業として新たに位置付けられたため、博物館資料を順次デジタル化し、デジタルアーカイブシステムを更新することで、ウェブサイトでの公開やリニューアル後の展示(デジタルコンテンツ)への活用を行うべく、作業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

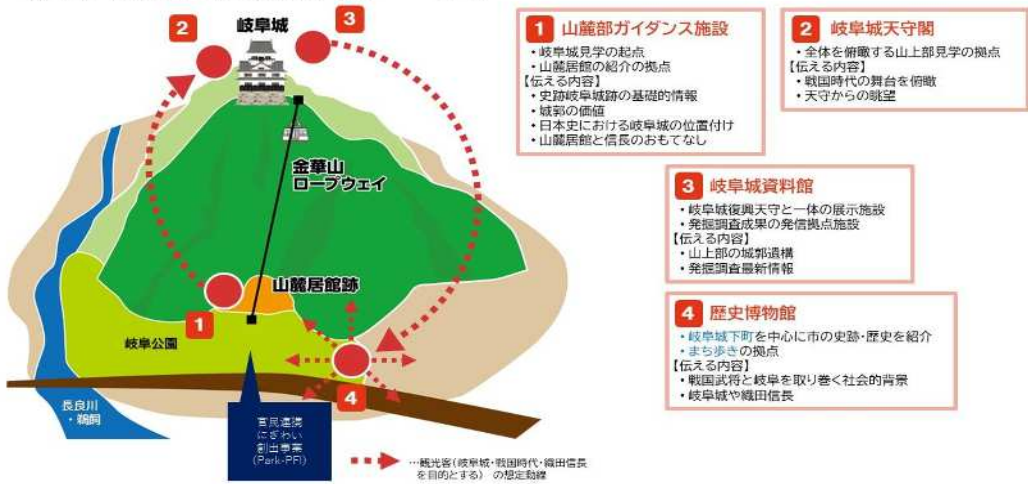
令和8年度秋(予定)のリニューアルオープンに向けて、引き続き関係課、関係機関と調整し、検討していく。

状況を示す写真や資料等

【新総合展示室のコンセプト】



【周辺施設との連携イメージ】



『岐阜市歴史博物館総合展示室リニューアル基本計画』(令和6年3月策定) ※一部抜粋

項目		評価対象年度	令和6年度
長良川水辺拠点整備事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和6年度～令和7年度(予定)

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業

計画に記載している内容 洪水から鵜飼観覧船を守り、鵜飼観覧船事業の安全・安心な実施に向け、河川増水時に観覧船等を迅速に陸揚げするための坂路整備を行う。
また、国においては、河川整備計画による流下能力の確保に向け、砂礫河原広場及び護岸を整備するほか、観覧船陸揚時の転回等のスペースに加え、イベントを行うとした場合でも利用可能な平場整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年6月 木曽川上流河川事務所より、今までの左岸整備の検討経緯及び今後の整備計画等について説明

〃 庁内関係部局による情報共有会議を開催

令和6年7月 庁内関係部局による情報共有会議を開催

令和6年9月 坂路の工事施工にあたり、木曽川上流河川事務所と情報共有

令和6年度末から鵜飼観覧船陸揚用坂路の工事に着手(木曽川上流河川事務所が施工)

進捗状況 ※計画年次との対応

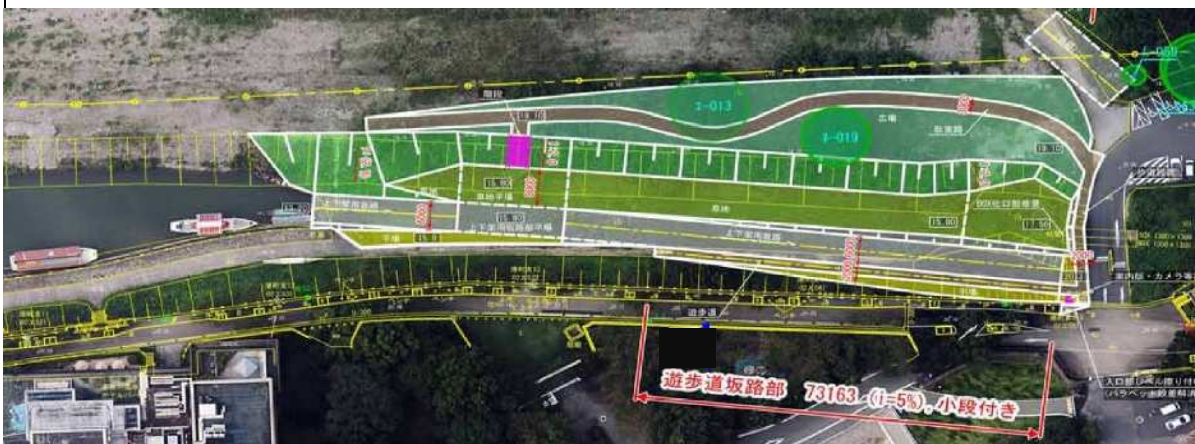
実施・検討にあたっての課題と対応方針

☒計画どおり進捗している

☐計画どおり進捗していない

引き続き関係部局や関係機関と調整しながら進めていく。

状況を示す写真や資料等



左岸整備案



イメージパース

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
無電柱化推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和12年度		
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業		
計画に記載している内容	市道上材木町鏡岩線ほか1路線において、電線共同溝による無電柱化整備を行い、歴史公園である岐阜公園の再整備に合わせて、景観に配慮した道路修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度 ・上材木町鏡岩線について、測量及び詳細設計を実施した。 令和6年度 ・上材木町鏡岩線について、引込設備等設計業務委託及び支障移転工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	関係者と調整しながら、計画的に無電柱化推進事業を進める。		
状況を示す写真や資料等			
写真① 元浜町湊町線の現状		写真② 上材木町鏡岩線の現状	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
岐阜公園三重塔特別公開事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 平成26年(2014)9月から平成29年(2017)2月までの約2年半をかけて、大規模な修復を行い、建立当初の姿に復元した岐阜公園三重塔を定期的に公開し、その価値や魅力を伝えることで後世に永く継承していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度 初夏の特別公開(令和4年 5月28日(土)) 参加者 468人
秋の特別公開(令和4年11月12日(土)13日(日)) 参加者1,767人

令和5年度 初夏の特別公開(令和5年 5月20日(土)) 参加者 529人
秋の特別公開(令和5年11月11日(土)12日(日)) 参加者1,521人

令和6年度 特別公開 (令和6年11月16日(土)17日(日)) 参加者1,744人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

信長公居館跡などの史跡とあわせて、岐阜公園が持つ戦国時代から近代の歴史の重層性を多くの人に体感してもらっている。また、ウォーキングイベント(まちなか歴史クイズウォーク)と同日開催することで相乗効果が生まれているため今後も継続する。

状況を示す写真や資料等



懸垂式(地面から浮いている)の心柱



心柱の様子を覗き込む参加者
(令和6年11月16日)



心柱を見上げる参加者
(令和6年11月17日)



三重塔からの景色を眺める参加者
(令和6年11月16日)

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
まちなか歩き回廊推進事業(まちなか歴史クイズウォーク)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	史跡岐阜城跡や旧城下町、川原町など岐阜公園周辺の歴史をテーマにしたクイズを解きながらまちなかを回遊するイベントを実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年度	まちなか歴史クイズウォーク(岐阜公園周辺) 令和4年11月12日(土)13日(日) 参加者 3,211人	
令和5年度	まちなか歴史クイズウォーク(岐阜公園周辺) 令和5年11月11日(土)12日(日) 参加者 3,416人	
令和6年度	まちなか歴史クイズウォーク(岐阜公園周辺) 令和6年11月16日(土)17日(日) 参加者 3,475人	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	市立の全小学校の全児童にチラシを配布することで、子供連れ家族の参加者増に効果が上がっている。また、三重塔特別公開と同日開催することで相乗効果が生まれているため、今後も継続する。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
岐阜まつり記録保存調査			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	毎年4月5日に執り行われる伊奈波神社の例祭と、それに伴い行われる山車奉曳等の一連の行事群で構成される岐阜まつりの総合調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(1)岐阜まつり文化財検討委員会の開催 令和3年度 2回 令和4年度 2回 令和5年度 2回 令和6年度 0回(台風接近のため中止、意見書聴取)			
(2)岐阜まつり当日の調査 令和4年、5年、6年の計3回			
(3)岐阜まつり山車・神輿の調査 令和3年度 山車調査 5回、山車実測 4回 令和4年度 木造町神輿実測 3基、からくり人形調査 6回、木造町神輿調査1回、山車調査2回 令和5年度 からくり人形調査 3回、木造町神輿調査 1回 令和6年度 山車調査 1回、からくり人形調査 1回			
(4)伊奈波神社文献資料の調査 令和5年度 歴史博物館寄託資料、伊奈波神社所蔵文書 3回 令和6年度 新聞記事収集 4回			
(5)お囃子の調査 令和4年度 1回 令和5年度1回 令和6年度1回			
(6)近隣まつりの調査(お囃子、からくり人形等) 令和5年度 3回(美濃まつり、関まつり、加納天神まつり)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査結果をまとめる報告書の執筆者の一人が急逝した。作成途中の原稿を使用させていただき、当課でまとめることとし、遺族の了承を得た。		

状況を示す写真や資料等



岐阜まつり
例祭(4月5日)



岐阜まつり
踊山車の曳行(4月6日)



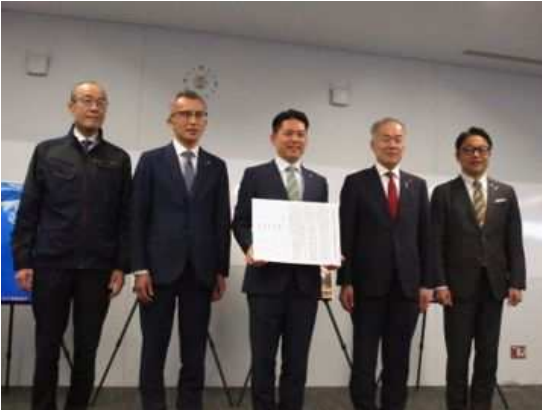
岐阜まつり
木造町神輿の奉納(4月6日)



山車の調査(4月19日)

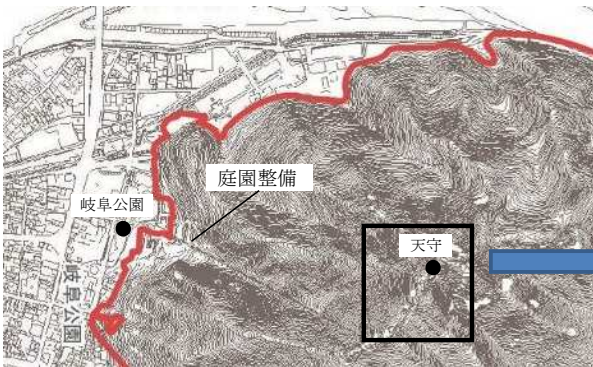
評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
長良川鵜飼文化未来継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していくための手段として、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組をオール岐阜で推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【Ⅰ】 ユネスコ申請準備 目的:目標達成のための合理的かつ明確な道筋をつけ、ユネスコへの申請に向けた準備を整える。 実績:グルーピング仲間の候補との意見交換(鳥羽市、志摩市、輪島市、関市)、伝統的漁撈文化のグルーピングに向けた勉強会(3回) 「伝統的漁撈文化ユネスコ登録推進協議会」(輪島市、岐阜市、関市、鳥羽市、志摩市)の設立(令和7年2月1日) 【Ⅱ】 魅力発信 目的:様々な手法を用いて鵜飼の魅力を効果的に発信し、市民の盛り上がりを創出する。 実績:ハンドブック「長良川鵜飼再発見」リニューアルに向けた取材(9回)、長良川鵜飼文化応援団との連携(負担金支出) 【Ⅲ】 保存活用 目的:文化財としての鵜飼の保存活用を組織的かつ計画的に行う。 ※重要無形民俗文化財「長良川の鵜飼漁の技術」保存活用計画(令和3年度文化庁認定)に基づき事業を実施 実績:岐阜長良川保存会の活動(鵜舟の造船・舟大工育成事業／鵜舟1隻新調)、 「長良川の鵜飼漁の技術」保存活用協議会の活動(船頭養成事業／実地研修延べ12回) 【Ⅳ】 総合調査 目的:無形文化遺産登録にふさわしい価値を証明するための総合的な学術調査を行う。 実績:岐阜市長良川鵜飼習俗総合調査(鵜飼屋地区詳細調査の実施(補足調査1回))、『長良川鵜飼習俗調査報告書Ⅵ』の執筆			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		保存活用計画に基づく事業をしてきたことで、持続可能な鵜飼の実現に向けて着実に成果をあげている。無形文化遺産登録については、伝統的漁撈文化のグルーピングに向けて、鵜飼漁と海女漁の基盤的な共通性を明らかにすることが課題。また、鵜飼漁が自然(動物)との共生によって成り立つことを国内外に対して丁寧に説明し続けていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
【Ⅰ】 伝統的漁撈文化ユネスコ登録推進協議会設立総会 (令和7年2月1日)		【Ⅱ】 ハンドブック「長良川鵜飼再発見」 リニューアルに向けた取材	
			
【Ⅲ】 船頭養成事業(観覧船の操船の実地研修)		【Ⅳ】 鵜飼屋地区詳細調査(鵜匠家建物調査)	

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
史跡岐阜城跡整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	「史跡岐阜城跡保存活用計画」、「史跡岐阜城跡整備基本計画」、「史跡岐阜城跡サイン計画」に基づき、史跡岐阜城跡の調査研究・保存・活用・整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○発掘調査(山上部) 平成30年度:二ノ門など、令和元年度:上台所、天守台北西部など、令和2年度:一ノ門、天守台西側など、令和3年度:一ノ門、天守東側など、令和4年度:一ノ門、天守南西部など、令和5年度:天守東側、天守南通路西側など、令和6年度:天守南通路西側、一ノ門北側など 現地説明会-平成30年度:参加者800名、令和元年度:参加者3,500名、令和2年度:公開のみ、令和3年度:公開のみ、令和4年度:公開のみ、令和5年度:350人、令和6年度:200人 発掘調査成果報告会(オンライン)-令和3年2月6日、令和4年1月15日、令和5年2月18日、令和6年2月17日 ○城郭景観復元(樹木伐採) 令和4年度:天守南西部石垣周辺、令和5年度:上台所北側、令和6年度:天守西側 ○山麓居館庭園整備 令和6年度:基本設計、有識者検討会(3回) ○史跡岐阜城跡整備委員会 令和4年度:2回、令和5年度:3回、令和6年度:2回			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年度12月に策定した『史跡岐阜城跡整備基本計画計画』に基づき、令和4年度から計画的に整備事業を実施している。 石垣の保護に影響する樹木の管理(伐採)について、市民や関係機関と協議しながら進める必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
  令和6年度整備事業箇所  発掘調査① 天守南通路西側斜面の石垣  発掘調査② 上台所付近の巨石石垣  上台所北側樹木伐採  山麓居館庭園整備イメージパース			

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
信長学推進事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	岐阜城及び信長公居館の調査・整備と連動して「信長公命名のまち・岐阜」を全国にPRするため、歴史シンポジウムや歴史講座を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度 ・信長学フォーラムを11月22日(日)に実施。定員600名のところ、申込者680名、参加者551名。 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者305名、延べ参加者数838名。 平成28年度 ・信長学フォーラムin東京(第9回 信長学フォーラム)を10月10日(月・祝)に大手町サンケイプラザにて実施。定員500名のところ、申込者506名、参加者450名。 ・第10回信長学フォーラムを2月25日(土)にじゅうろくプラザにて実施。定員600名のところ、申込者1,291名、参加者600名。 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者234名、延べ参加者数830名。 平成29年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者259名、延べ参加者数863名。 ・第11回信長学フォーラムを11月26日(日)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者644名、参加者523名。 平成30年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者290名、延べ参加者数810名。 ・第12回信長学フォーラムを1月20日(日)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者642名、参加者550名。 令和元年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者244名、延べ参加者数845名。 ・道三学フォーラム(第13回信長学フォーラム)を11月23日(土・祝)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者855名、参加者509名。 令和2年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・第14回信長学フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により延期し、令和3年1月30日(土)に観客数を減らし開催。定員250名のところ、申込者445名、参加者153名。 令和3年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)をオンライン開催として実施。会場でのオンライン受講申込者92名、参加者36名。 ・自宅からのオンライン受講参加者105名。 ・第15回信長学フォーラムを11月27日(土)に観客数を減らし開催。定員150名のところ申込者276名、参加者152名。 令和4年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)をオンライン開催として実施。会場でのオンライン受講申込者31名、参加者27名。 ・第16回信長学フォーラムを12月3日(土)に観客数を減らし開催。定員250名のところ申込者428名、参加者206名。 令和5年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)をオンライン開催として実施。会場でのオンライン受講申込者132名、参加者65名。 ・第17回信長学フォーラムを11月25日(土)に開催。定員600名のところ申込者289名、参加者238名。 令和6年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。受講申込者154名、延べ参加者数526名。 ・第18回信長学フォーラムを11月23日(土・祝)に開催。定員600名のところ申込者590名、参加者424名。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	申込者数は年々減少傾向にあるので、さらなるPRと内容の充実に努める。	
状況を示す写真や資料等		
 第18回信長学フォーラム(令和6年11月23日)  第18回信長学フォーラム — 安土城からみた岐阜 —  信長塾(令和6年度第1回)  信長塾(令和6年度第4回)		

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
歴史遺産活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	日本遺産第1号となった『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』のPRなどのため、人材育成、普及啓発、情報コンテンツ作成等の事業を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度 - 情報発信事業、人材育成事業 - 日本遺産観光誘客用特別冊子(まっふる岐阜市)30,000部増刷、日本遺産サミット小松及び日本遺産PRイベントにてブース出展、配布 - 岐阜市文化財誘導看板作製・設置(8箇所)、岐阜市文化財説明板作製・設置(2箇所)および修繕(10箇所) - 日本遺産ガイド活用事業実施(モニターツアー開催プログラム数4、参加者数100人) - 日本遺産を通じた地域活性化計画の条件付き認定(令和4年1月14日) 令和4年度 - 情報発信事業、人材育成事業 - ぎふ歴史遺産探訪マップ3,500部改定増刷、岐阜市文化財誘導看板作製・設置(3箇所)、岐阜市文化財説明板修繕(3箇所)、日本遺産フェスティバルin関門及び日本遺産PRイベントにてブース出展 - 日本遺産ガイド活用事業実施(モニターツアー開催プログラム数11、参加者126人) - 岐阜市日本遺産戦略検討ワーキンググループ会議開催(6回) - 日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜身体感ツアー造成事業実施 ※「日本遺産を通じた地域活性化計画」に基づく情報発信事業および人材育成事業を実施。 - 日本遺産身体感ツアー造成事業は、信長公のおもてなしのストーリーが体感できるコンテンツとして、モニターツアーで高評価を得た。 令和5年度 - 情報発信事業、人材育成事業 - メタバース岐阜城プロジェクト(山麓部)、岐阜市文化財誘導看板作製・設置(2箇所)、岐阜市文化財説明板作製・設置および修繕(3箇所)、日本遺産記事広告掲載事業及び、記事をベースにした日本遺産パンフレット作成事業を実施(10,000部)、岐阜市日本遺産戦略検討ワーキンググループ会議開催(6回)、日本遺産フェスティバルin桑都・八王子及び日本遺産PRイベントにてブース出展 - 岐阜市内のガイド育成研修(座学・現地)を実施 ※令和4年度まで実施したガイド事業のフォローアップとして、研修を実施。 - 今年度から 仮想空間上に戦国時代の岐阜城を再現するメタバース岐阜城プロジェクトを開始した。 令和6年度 - 情報発信事業、人材育成事業 - メタバース岐阜城プロジェクト(山上部)、岐阜市文化財誘導看板作製・設置(2箇所)、日本遺産記事広告掲載事業及び、記事をベースにした日本遺産パンフレット作成事業を実施(3,000部)、ぎふ歴史遺産探訪マップ改訂版3,000部増刷 - 岐阜市日本遺産戦略検討ワーキンググループ会議開催(6回) - 日本遺産フェスティバルin極上の会津及び日本遺産PRイベントにブース出展 - 岐阜市内のガイド育成研修(座学・現地)を実施 ※令和5年度に引き続き、「日本遺産を通じた地域活性化計画」に基づく情報発信事業および人材育成事業を実施。 - メタバース岐阜城プロジェクトは、今年度初めに山麓部を公開。年度末までに岐阜城山上部および城下町部分を作成。 - 日本遺産を通じた地域活性化計画が認定継続および重点支援地域に認定(令和7年2月4日)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新たに策定した「日本遺産を通じた地域活性化計画」(令和6～11年度)を着実に実行していくことが重要	
状況を示す写真や資料等		
 メタバース 岐阜城プロジェクト  日本遺産フェスティバル in 極上の会津 日本遺産記事広告掲載 —月刊ぶらざ7・8月号—		

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
長良川まつり支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 毎年7月16日に神明神社及び長良川右岸で開催され、長良川での航行の安全などを祈る、提灯で装飾された船の出船や鵜匠をはじめとした鵜飼関係者による鮎供養などが行われる長良川まつりに対し、支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度

長良川まつり実行委員会が実施する提灯船運航、打ち上げ花火等の長良川まつり開催に対し支援し、約3,000人の集客があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域事業支援として、伝統行事の継承に貢献しており、引き続き、市の観光施設(うかいミュージアム、観覧船造船所など)と連携し、地域への入込客数を増やすイベントを行うなど、観光事業への貢献に繋げる。

状況を示す写真や資料等



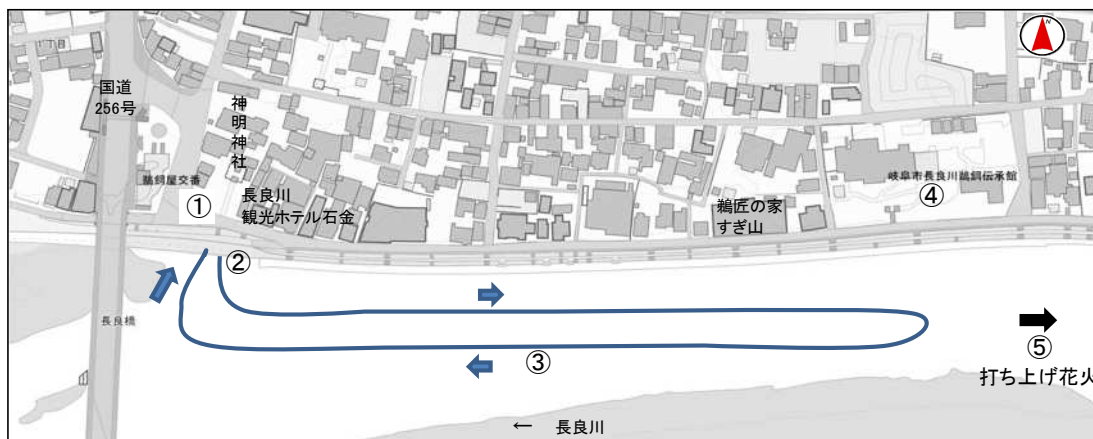
①鮎供養(神明神社)



②鮎の放流(神明神社前川原)



③提灯船の運航



行事の開催場所(開催日は毎年7月16日)

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
ぎふ長良川の鵜飼伝承事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
ぎふ長良川の鵜飼の特徴と魅力を、様々な展示や空間演出を用い、わかりやすく多くの人々に伝え、文化の伝承及び、観光の振興に寄与することを目的に、岐阜市長良川鵜飼伝承館(長良川うかいミュージアム)において、各種事業を展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鵜飼の歴史や文化などを市民に広く紹介するために、専門家などを招いて講座を開催した。
鵜飼のオフシーズン(10月中旬～5月初旬)でも鵜飼が楽しめるように、館内において、鵜匠による「鵜飼の実演」「鵜飼の説明」を実施した。

〔令和6年度の実施回数〕

- ・市民講座 12回 / 12回(実施 / 予定) 参加者 232名
- ・鵜飼の実演 30回 / 30回(実施 / 予定) 参加者1,053名
- ・鵜飼の説明 18回 / 18回(実施 / 予定) 参加者 318名

上記以外にも、鵜飼文化の紹介や、ボランティアガイドの解説を交えた展示室の観覧と鵜飼の里の散策など、鵜飼にちなんだ体験型事業も実施した。

■展示室観覧者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	1,704	4,189	4,272	5,600	7,457	6,717	4,127	3,484	1,623	1,294	1,441	2,197	44,105
令和5年度	1,538	3,645	3,366	4,581	5,839	5,022	4,536	2,585	1,724	1,445	2,117	2,213	38,611

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

ぎふ長良川の鵜飼文化を発信する拠点として、展示室のPRをはじめ、鵜飼のオフシーズンにおけるイベントの実施や近隣宿泊施設との連携等により誘客を図っている。
今後は、指定管理者の強みを活かし、旅行エージェントや近隣県の小中学校を対象とした営業活動等により、更なる誘客に努めていく。

状況を示す写真や資料等



市民講座「ここまで分かった日本の鵜飼」
(9月28日 会議室)



鵜飼の実演
(通年不定期開催 本館1階多目的スペース)



鵜飼文化の紹介
(通年不定期開催 展示室内)



うかい歩き-鵜飼の里とミュージアム-
(毎月第2日曜日(月1回)開催 鵜飼屋地区内)

評価軸④-10
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
岐阜城天守閣運営管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	金華山山頂に立地し、市民等の寄附により昭和31年(1956)に再建された復興天守である岐阜城天守閣を運営する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

金華山山頂(標高329m)に立地する観光岐阜のシンボル岐阜城は、昭和31年7月25日岐阜城再建期成同盟により再建、平成9年10月に大改修されたもので、多くの観光客及び岐阜市民等に親しまれている。令和6年度の入場者数は、前年度と比較し約1,000人増加した。
令和6年度は、平成13年度に始まった岐阜城パノラマ夜景事業を、4月27日～5月6日の10日間、7月13日～8月31日の50日間、9月1日～11月30日の土・日・祝日の30日間、1月18日～1月26日の灯り物語開催期間中の土日4日間、3月20日～30日の土・日・祝日の5日間の計99日を開催した。

■入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	28,305	34,423	21,906	21,026	36,437	27,845	30,334	38,681	22,459	23,984	14,944	28,738	329,082
令和5年度	27,425	36,203	20,440	23,876	34,465	27,608	33,726	37,350	20,330	20,535	18,574	27,509	328,041

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	予算の範囲内での効果的・効率的な運営に努めつつ、パノラマ夜景や灯り物語の夜間営業に注力し、岐阜城への観光誘客を目指していく。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



岐阜城



月と岐阜城



岐阜城 パノラマ夜景チラシ



パノラマ夜景

評価軸④-11

文化財の保存又は活用に関する事項

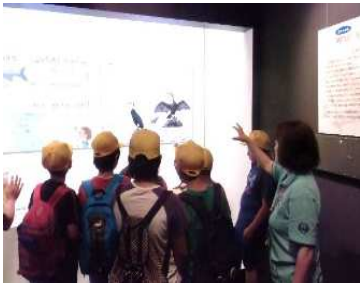
評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
鵜飼観覧船等の運航事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	1300年を超える歴史があり、岐阜の夏の風物詩として受け継がれてきた「ぎふ長良川の鵜飼」(5月11日～10月15日)を観光と伝統継承の両面から支えるため、鵜飼観覧船の運航管理を行う。 また、鵜飼観覧船の新造及び補修を鵜飼観覧船造船所で行い、自由に見学することができる施設として開放する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
5月11日～10月15日までの間、鵜飼休み(中秋の名月頃)を除く157日間、鵜飼観覧船の運航を行っている。令和6年度はすべての制限を撤廃し、コロナ禍前と同じく通常の定員での運航を行った。今年度から予約システムを一新し、事前決済を導入して窓口業務を効率化した。増水等による中止もあり、152日の運航となった。比較的乗船客が少ない5～6月の土曜日を除く日には、予約システムから予約した乗船客に、鵜匠の船頭や鵜などの写真を掲載した鵜飼カードを配布し、予約システムの利用促進及び誘客を図った。なお、長良川遊覧船はGW期の4月27日から5月6日までの10日間運航した。 またインバウンドの人数、割合も増加し、全体におけるインバウンドの乗船客の割合は過去10年間に於いて最も高かった。その要因として、新予約システムが英語に対応していることや、新予約システムでは予約時点でクレジットカード決済が可能であるため、例年より予約のハードルが下がっていることが挙げられる。 昨年度から運航を開始した、靴のまま乗船可能な椅子席の観覧船(旅客定員16人)を今年度も新造し、貸切船運用を開始した。調光可能な船内LEDや、腰への負担が少なく乗下船しやすい構造など快適性の向上を図った椅子席の観覧船は、大変利用しやすいと乗船客から好評であった。 令和5年度 ・鵜飼観覧船 7万3101人(5月11日～10月15日 増水等のため中止10日) ・風流屋形船 130人(鵜飼開催期間外) ・夢粋船 1075人(鵜飼観覧船と同期間) ・長良川遊覧船 1,053人(4月28日～5月7日および3月23日、3月24日、3月30日、3月31日) ・インバウンド人数、割合 2,861人、3.9% 令和6年度 ・鵜飼観覧船 8万3768人(5月11日～10月15日 増水等のため中止5日) ・風流屋形船 270人(鵜飼開催期間外)R7.2.14時点 ・夢粋船 185人(鵜飼観覧船と同期間) ・長良川遊覧船 688人(4月27日～5月6日)R7.2.14時点 ・インバウンド人数、割合 3,936人、4.7%		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和6年度は海上運送法等の改正により、鵜飼開幕前に座学や操船訓練などの研修を一層強化し、船頭として必要な知識、技術を修得させた。来年度以降も引き続き、安心安全な運航に努めていく。 船頭の高齢化及び船長を任せられる船頭数の不足が課題であり、令和7年度に向けてハローワークの合同企業展に参加など積極的に活動し、新人船員の確保に努めた。また、シーズン中に操船訓練を多数実施するなど、ベテラン船頭からの教育体制を強化し、操船スキルの向上を図った。	
状況を示す写真や資料等		
 「ぎふ長良川の鵜飼」の様子  16人乗り椅子席の観覧船  長良川遊覧船  造船所の様子		

文化財の保存又は活用に関する事項

岐州市-20

評価軸④-13

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
ふるさと大好き鵜飼事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	ふるさとを誇りに、自信をもって生きぬく資質と態度を養うことを目的に、各学校の企画・運営で鵜飼観覧体験事業を行い、おもに小学校5年生が鵜飼観覧を行う際に必要な鵜飼観覧船乗船料の半額を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度 コロナ感染対策等も検討した結果、令和3年度は事業を中止することとした。 令和4年度 感染防止対策を徹底しながら、小学校5年生と中学校1年生を対象に実施。小中学生4,972名が参加。 令和5年度 小学校5年生と中学校1年生を対象に実施。小中学生5,176名が参加。(小学校46校中1校が増水のため、中学校23校中1校が雨天のため中止) 令和6年度 コロナ禍で乗船できなかった2年間の救済措置が終わり従来通り、小学校5年生を対象に実施。3,044名(小学生2,856名・引率者188名)が参加。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	古くから伝わる岐阜の伝統文化に触れることができると大変好評である。雨天による増水等で予定日に実施できなかった場合も鵜飼観覧船事務所と連携を取り、代替日を決め、多くの学校が鵜飼体験事業に参加することができている。(令和6年度は全小学校が乗船することができた。)	
状況を示す写真や資料等		
  【事前学習】 ・うかいミュージアムの見学 ・鵜匠さんからお話を聞く ・鵜舟について調べる		
  【鵜飼観覧】 (保護者と観覧する学校もあり)		
 【鵜飼体験後の振り返り】 ・鵜飼船で俳句作り ・総合学習で発表		
参加者の声(好評事例) ・鵜飼のすばらしさが分かった。次は家族と観覧したい。 ・目の前で鵜が魚を捕るところを見て感動した。 ・鵜匠さんの鵜を操る技がすごいと思った。 ・岐阜の伝統文化を継承していくことが大切だと感じた。 ・鵜匠さんや船大工さんに直接お話を聞きたい。		

評価軸⑤-1			
効果・影響等に関する報道			
報道等タイトル		評価対象年度	令和6年度
		年月日	掲載紙等
新聞 (鵜飼、 長良川)	鵜 元気です 長良川鵜飼向け 岐阜で健康診断	令和6年4月12日	中日新聞
	長良川夜市 定着させたい 鵜飼シーズン 毎週土曜に開催	令和6年4月17日	中日新聞
	鵜飼ネット予約「順調」	令和6年4月17日	中日新聞
	国文祭 鮎文化を発信	令和6年4月23日	岐阜新聞
	長良川鵜飼 来月11日開幕 天候急変を想定 操船訓練	令和6年4月30日	中日新聞
	新造の鵜舟 推進式	令和6年4月30日	中日新聞
	元日本代表 長良川鵜飼船頭デビューへ 柏木さん 竹ざおで岐阜に恩返し	令和6年5月11日	中日新聞
	長良川の安全願う 岐阜市 鵜匠らが鮎供養	令和6年7月17日	岐阜新聞
	長良川鵜飼 乗船5万人 訪日客回復、昨年以上の伸び	令和6年8月20日	岐阜新聞
	長良川鵜飼が閉幕 来場者8万人超え	令和6年10月16日	中日新聞
	酷暑の鵜飼 お疲れさま 長良川閉幕 鵜の健康チェック	令和6年10月16日	岐阜新聞
	オフシーズンも鵜飼PR 岐阜のミュージアム 実演やツアー企画	令和6年10月16日	中日新聞
	鵜に感謝 安らかに 4羽を供養	令和6年10月24日	岐阜新聞
	「伝統漁」登録へ5市連携 ユネスコ無形遺産	令和7年1月29日	岐阜新聞
	岐阜・関の鵜飼／輪島・鳥羽・志摩の海女 ユネスコ登録へ船出	令和7年2月2日	岐阜新聞
伝統的漁労を世界へ 結束 鵜飼・海女漁 岐阜市呼びかけ発足	令和7年2月8日	朝日新聞	
新聞 (岐阜城、 岐阜公園)	信長暮らす岐阜城 仮想空間に「フォートナイト」内で誰でも閲覧可能	令和6年4月26日	中日新聞
	ゲーム空間に信長の居館「フォートナイト」で岐阜城山麓表現	令和6年4月26日	岐阜新聞
	岐阜城 ネットゲームに登場「フォートナイト」に市が提供	令和6年5月8日	朝日新聞
	岐阜城のこだわり”拡散” ユーチューブ「レキドビラ」で城紹介	令和6年8月9日	岐阜新聞
	岐阜城入場1600万人達成 1956年再建、近年観光客増加	令和6年9月20日	岐阜新聞
	高山、観光ハブに 富裕層に照準 岐阜城周辺は飲食店拡充	令和6年10月25日	日本経済新聞
	信長「本丸空間」どう活用 天守南通路の西側、本年度調査開始	令和6年10月30日	岐阜新聞
	岐阜城 供応施設の解明目指す 天守南通路西側 裏付けする埋蔵物見つかるか	令和6年11月8日	朝日新聞
	金華山山上部の1.8ヘクタール 岐阜公園区域に追加 市都市計画審が方針	令和6年11月19日	中日新聞
	岐阜公園の「三重塔」元は長良橋	令和6年12月8日	岐阜新聞
	岐阜公園、工事中も華やかに	令和7年1月22日	岐阜新聞
	岐阜城「上台所」重要施設か 道三期の城門土台？新たに巨石の石垣発見	令和7年2月1日	中日新聞
	11店舗集め「岐阜城楽市」 4月26日オープン再整備の岐阜公園	令和7年2月4日	中日新聞
	岐阜公園再整備 カフェやレストラン11店舗出店	令和7年2月4日	岐阜新聞
	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜 努力実り日本遺産に正式選定	令和7年2月5日	中日新聞
「信長公」日本遺産継続 文化庁24年度評価 取り消し候補から「重点支援地域」に 岐阜市「官民連携の成果」	令和7年2月5日	岐阜新聞	
新聞 (その他)	厳かに 伊奈波神社 華やかに 地域の繁栄と安寧願い例祭	令和6年4月6日	中日新聞
	川原町提灯を14年ぶり新調 まちづくり会が披露	令和6年5月9日	中日新聞
	伝統の岐阜和傘「美しさ体感を」好評の市の貸し出し 本年度も	令和6年5月25日	中日新聞
	はじく雨音 思いはせて 強い日差しの下、天日干しされる和傘	令和6年6月15日	中日新聞
	岐阜和傘×現代技術 色鮮やか 岐阜公園などライトアップ	令和7年1月19日	中日新聞
テレビ	ドキュメント72時間 岐阜・長良川 流れを見つめながら	令和6年7月12日	NHK
	まるっと岐阜(道三時代の城門の土台か 岐阜城の発掘調査で石垣発見)	令和7年2月10日	NHK
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【報道の主な内容】 本市の中心的な歴史資産であるぎふ長良川の鵜飼や史跡岐阜城跡に関する話題が多く取り上げられた。 【報道の内容のまとめ】 観光客数やイベントなど観光の視点から多く取り上げられたほか、岐阜公園再整備や日本遺産に関する取組、鵜飼のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組にも注目が集まった。			
進捗状況 ※計画年度との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		今後も歴史まちづくり事業をPRするため、積極的にマスコミに情報提供をする。	
状況を示す写真や資料等			
著作権保護のため報道記事は掲載していません。			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和6年度
その他(効果等)			
計画に記載している内容	多くの市民が文化財の価値を認識し、世代を超えた持続的な文化財の保存・活用が出来るように、生涯学習の場などを活用し、文化財とともに生活する市民一人ひとりの意識の向上を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
国の登録有形文化財である岐阜公園三重塔(歴史的風致形成建造物)について、一般の特別公開を行うことに加えて、別に団体申し込みがあった4団体に対して個別の公開を実施し、文化財の価値の周知が図られた。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も文化財を適切に保存しつつ、可能な限り活用を図ることで多くの市民に向けて文化財の価値を発信していく。		
状況を示す写真や資料等			
 宙に浮いている心柱を のぞき込む参加者(5月14日)		 説明パネルを見る参加者 (5月14日)	
 心柱を見上げる参加者 (5月18日)		 三重塔からの景色を 眺める参加者(5月18日)	

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度岐阜市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月20日 午後2時～午後3時30分	
(コメントの概要) メタバース岐阜城(史跡岐阜城跡整備事業)について ・学術的コンテンツなのか、少し娯楽要素が入っているコンテンツなのか、調査研究が進んだ時に全然違う成果が出てくる可能性もあるので、そのあたりの注があった方がよい。 ・学校教材として、使われ始めていると伺ったが、どこの部分が何を参考にしてというところが曖昧だと危険性があるため、配慮して紹介してほしい。 岐阜まつりに関する補助金等支援について ・山車の蔵の改修、建て直しを支援してほしい。 インバウンド対応について ・インバウンドがかなり増えてきている中で、全体的な取組の進め方を伺いたい。 重点区域内の事業配分について ・重点区域内の計画事業について、エリアによる濃淡があるので、薄いエリアでも事業があると望ましい。	
(今後の対応方針) メタバース岐阜城(史跡岐阜城跡整備事業)について ・文献上や発掘調査などをもとにして再現している部分と想像を含めて作っている部分が分かるように整理する。 岐阜まつりに関する補助金等支援について ・現在、市の指定文化財である岐阜まつりについて、県の指定を受けることを目指して、調査を進めているところであるが、指定のランクが上がると補助金のサポートも厚くなっていくため、最大限活用できるよう案内していく。 インバウンド対応について ・インバウンド対応として、通訳の育成や民間による外国人受け入れ環境整備への補助などを行っている。そうした取組を進めながら、市内の文化財等の保護部局と活用部局が連携をとりながら、歴史まちづくりを進めていく。 重点区域内の事業配分について ・第1期計画時に城下町エリアの取組を重点的に進めてきたこともあり、一時的に濃淡が出てしまうことも致し方ない部分があるが、長期的視点の中で濃淡のバランスをとれるように、今後の取組を進めていく。	